



## 夏休み子ども交流キャンプを開催 大阪市ボランティア・市民活動センター



お天気にも恵まれ夏休みの良い思い出に



粉と水からのうどん作り、美味しくできました

### 新たな出会いと交流の2泊3日

東日本大震災で大阪へ避難している子どもたちと大阪市内の子どもたちとの交流キャンプを8月3日から2泊3日、「京都府立るり溪少年自然の家」で行いました。

初めての出会いも多いことから、7月15日には、参加者同士やキャンプを進行する大学生との事前顔合わせ会を大阪市ボランティア・市民活動センターで開催し、本番に向けて関係づくりを行いました。

本番では、自然観察、野外でのグループワーク、手打ちうどん、クラフト、ウォークラリー、そしてキャンプファイヤーで楽しみました。

子ども同士の新しい出会いや、日頃接することの少ない大学生との交流で、思いっきり笑ったり、汗をかいたりの愉快的な3日間を過ごしました。

※本事業は、NPO法人キャンピズの協力で開催しました。

## お盆里帰りバスを運行 大阪府生活協同組合連合会

大阪府生活協同組合連合会では「お盆里帰りバス」を運行。8月10日（木）夜に大阪を出発し、16日（水）朝に帰阪する日程で、東京、福島県いわき市、同県郡山市、宮城県仙台市の4ヶ所に立ち寄りながら、10組19人が利用しました。

往路は、帰省と事故の渋滞の影響で予定時間から2時間の遅れとなりましたが、復路は、大きな渋滞に巻き込まれることもなく、予定時間より早めに各停車地に立ち寄ることができました。帰りの車内では、帰省中どのように過ごされたのかを話したり、ピンゴゲームをしたりして交流しました。

今回のバスには大学生を中心とする5人のボランティアと事務局職員2人が同行しました。ボランティアメンバーは8/12～8/14の期間、宮城県内の仮設住宅での住民交流会や被災地の見学、岩手県陸前高田市の花火大会で、模擬店のお手伝いなどのボランティア活動を行いました。

同会では今後も東北と大阪を繋ぐ事業を実施していく予定です。



仮設住宅での住民交流  
健康体操を行いました



学生がボランティア参加



## 方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

### < 「しゅっとしてる」のは誰? >

大阪で生活するようになってから、よく耳にする言葉が「しゅっとしてる（とる）」です。いわゆるイケメン俳優を話題にする時、「〇〇さんは、しゅっとしてる」という表現が聞こえてきます。

でも、大阪出身の学生によると「しゅっとしてる」のはイケメンだけではなく、スタイルの良い女性にも使うそうです。さらに驚いたのは、人間以外にも使えること。たとえばスーツに合わせる紳士用の革靴やハイヒールなど、靴先や踵が長くとかがっていけば「しゅっとしている」が使えるそうです。スニーカーのデザインでも「しゅっとしている」ものとそうでないものがあるとか。また、鼻には「しゅっとしている」が使えても、目や口には使いにくいそうです。

共通語には、すばやく勢いのある音を表す「しゅっと」という言葉があります。炭酸飲料の蓋を開ける時の、あの音はまさに「しゅっと」と言います。これと「しゅっとしてる」にどのような関係があるのか……「しゅっと」するスッキリした答えはなかなか見つかりません。

追手門学院大学経済学部講師 櫛引祐希子

※方言に関するご質問やご意見がありましたら、こちらまで。 yukushib@otemon.ac.jp

## 何でも話そう 安心あたたか 「ほっ!と相談」無料

こころの中に溜めこんでいるモヤモヤした気持ちを吐き出してスッキリしませんか?精神対話士が真心の対話で一步先の解決に向けて一緒に考えます。

日時: 10月29日(日)、11月11日(土)、  
12月9日(土)、  
1月13日(土)・21日(日)、  
2月4日(日)・18日(日)  
※いずれも13:30~16:30

場所: 堺市立東文化会館 講座室1  
(アミナス北野田3階)  
(南海高野線「北野田」駅より徒歩1分)

申込: 要予約「対話カフェ」大阪事務所  
[TEL:090-2064-4249](tel:090-2064-4249)  
(10:00~17:00)

主催: 内閣府認可 一般社団法人メンタルケア協会  
後援: 大阪府、厚生労働省

## 高校生に避難の現状を伝える

東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream (サンドリ)では毎月1回「Free English Cafe」を開催し、避難者や英会話に関心のある人たちが、避難の現状を発信したり英会話のスキルアップなどを目的に参加しています。



熱心に耳を傾ける高校生

8月18日には淀川区の英真学園高等学校から4人の生徒がCafé後の交流会に参加。同校は文化祭などで震災支援のチャリティーバザーに取り組んでおり、去年は生徒会メンバー5人と教員1人が里帰りバスに同乗、車中や東北の地で避難者や被災された人たちと交流しました。この日は避難者のお話を聞いたいと新年度の生徒会メンバーが交流会に足を運びました。

避難者からは、自主避難を選択した理由や小児甲状腺ガンの検査のこと、必要に迫られて勉強した放射能のことなどが話されました。生徒たちは、同じ高校生の避難者に対して「避難によって学校が変わり、学習の内容も変わるが不安ではないか?」との質問や、「お互いが気遣って避難者同士でも連絡が取りづらくなっていることに驚いた」などの意見がでました。

## Café IMONIKAIのご案内



毎月開催の交流会★みんなでゆっくりお話ししましょう。途中参加、途中退室は自由。当日参加も大歓迎です。

10/31(火) 11/29(水) 12/20(水)

時間: いずれも10:00~16:00  
場所: 大阪市立社会福祉センター  
問合せ: peimonikai@gmail.com

※保育が必要な方は2週間前までにご相談ください。

### 発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
大阪市ボランティア・市民活動センター  
(協力:大阪市各区社会福祉協議会)

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10  
TEL: 06-6765-4041 / FAX: 06-6765-5618  
メール: imonikai@osakacity-vnet.or.jp (担当:小野)  
《利用時間》 月・水・金 9:30~20:30  
火・木・土 9:30~17:00  
(日曜・祝日及び年末年始休館)